

文語日誌(平成二十五年七月十日)

THEATRE DES CHAMPS ELYSEES(シャンゼリゼ劇場)

モンテーニュ通りに立地し、一九一三年に開場す。當時最先端の鐵筋コンクリート建築なり。ニジンスキー、ディアギレフなど露西亞バレエ團の公演は傳説となりき。

シーズン九〇・九一年

LE COQ D'OR(金鷄)(九〇年一月)

リムスキーコルサコフ作曲。露西亞よりの引つ越し公演。女王役のソプラノ、難曲を見事に歌ひ切る。樂しき童話の風情にて、兵隊のふざけたる歩き方、王様を風刺したり。

BORIS GODDOUNOV(ボリス・ゴドノフ)(九一年一月)

ムソルグスキー作曲。「金鷄」と同様、露西亞よりの引つ越し公演なり。演出、分り易く好感持てり。バレエ、合唱、オケとも本場物の雰圍氣十分。

JULIA MIGNES THE SHOW(ユリア・ミゲネス)(九一年二月)

プラシド・ドミンゴとカルメンの映畫に主演し有名となりたる米國出身のソプラノ、ユリア・ミゲネスの「ザ・ショー」なり。マイク付きの一人舞臺にて、クルト・ワイルやウエストサイドなどポピュラーなる曲中心なり。巴里在住の彼女の人氣、巴里にては頗る高く、アンコールの「カルメン」よりのアリアにては聴衆の熱狂風となりぬ。

CONCERT ARROYO(アローヨ)(九一年二月)

米國出身の黒人ソプラノ、マルティナ・アローヨの歌はかつての大歌手の片鱗のみ味はふことを得。

CONCERT M. PRICE(マーガレット・プライス)(九一年六月)

英國出身の名ソプラノ、マーガレット・プライスのオーケストラ付きの歌曲演奏、モーツァルトのモテット「アレルヤ」には瞬間的閃き之あり。

FALSTAFF(ファルスタッフ)(九一年六月)

ヴェルディ晩年の傑作オペラ、「ファルスタッフ」。眞夏の夜の夢の如き森の中の場面あな美し。ナネット役のフォチレ好演す。

シーズン九一・九二年

RECITAL RICCIARELLI(リッチャレッリ)(九二年一月)

伊太利のソプラノ、カーティア・リッチャレッリのリサイタル。アンコールのオーソレミオにては、パヴァロッティ張りにハンカチを振るはせ満場の拍手喝采を浴びたり。西洋女性のエネルギーを實感す。

シーズン九二・九三年

**ARMIDE**(アルミード)(九二年十二月)

リユリ作曲のオペラ「アルミード」。ヘレヴェツへ指揮の古樂器羣の音素晴しく、現代的舞臺と不思議なる調和を示す。リユリ、見事に今日に復活したり。

**RECITAL LUDWIG**(ルートヴィヒ)(九三年二月)

名歌手クリスタ・ルートヴィヒの引退記念世界行脚の最初は巴里公演なりき。(彼女は獨逸人なるも今は再婚して巴里に在住す。)ヴォルフの「庭師」の終はりたる箇所にて舞臺脇に水を飲みに行く豫想外の展開あり。マーラーやシュトラウスの歌曲など、他の現役歌手を遙かに凌ぐ見事なる出来榮え。

**RECITAL EWING**(ユイイング)(九三年五月)

米國出身のメゾソプラノ、マリア・ユイイングのマーラー歌曲。シャトレにてのリサイタルの出来が餘りに良かりければ大いに期待膨らむも音程不安定。聴くに堪へず中途にて席をば立ちにき。